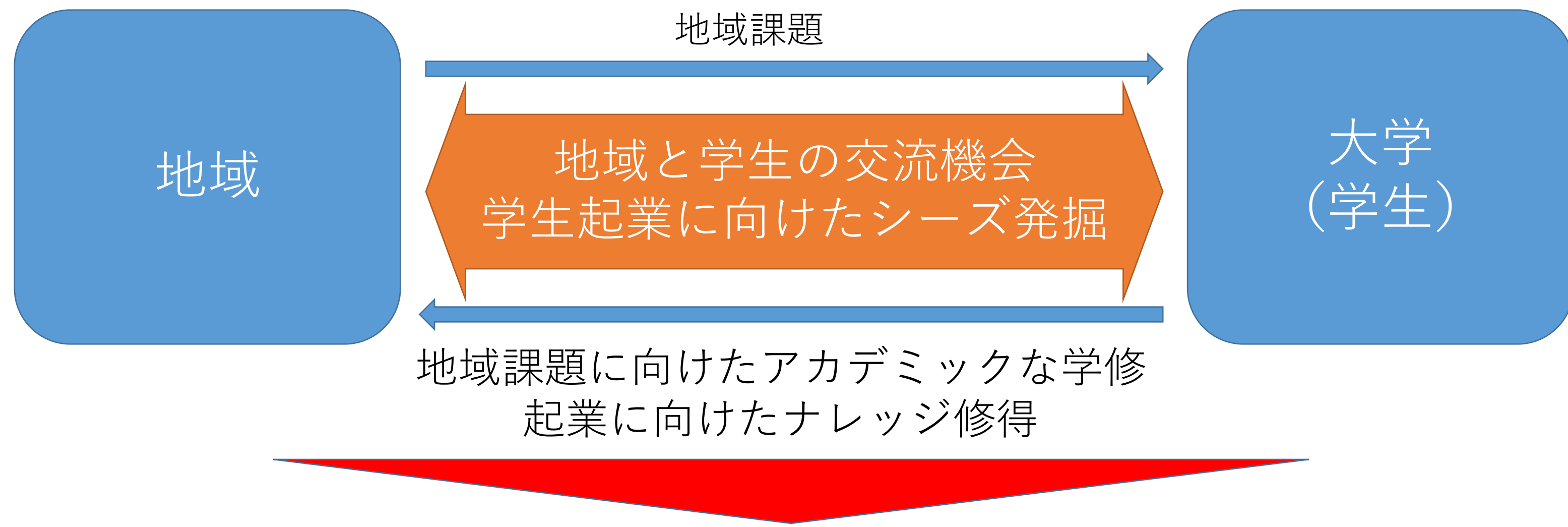


# 亀川商店街再活性化計画策定事業

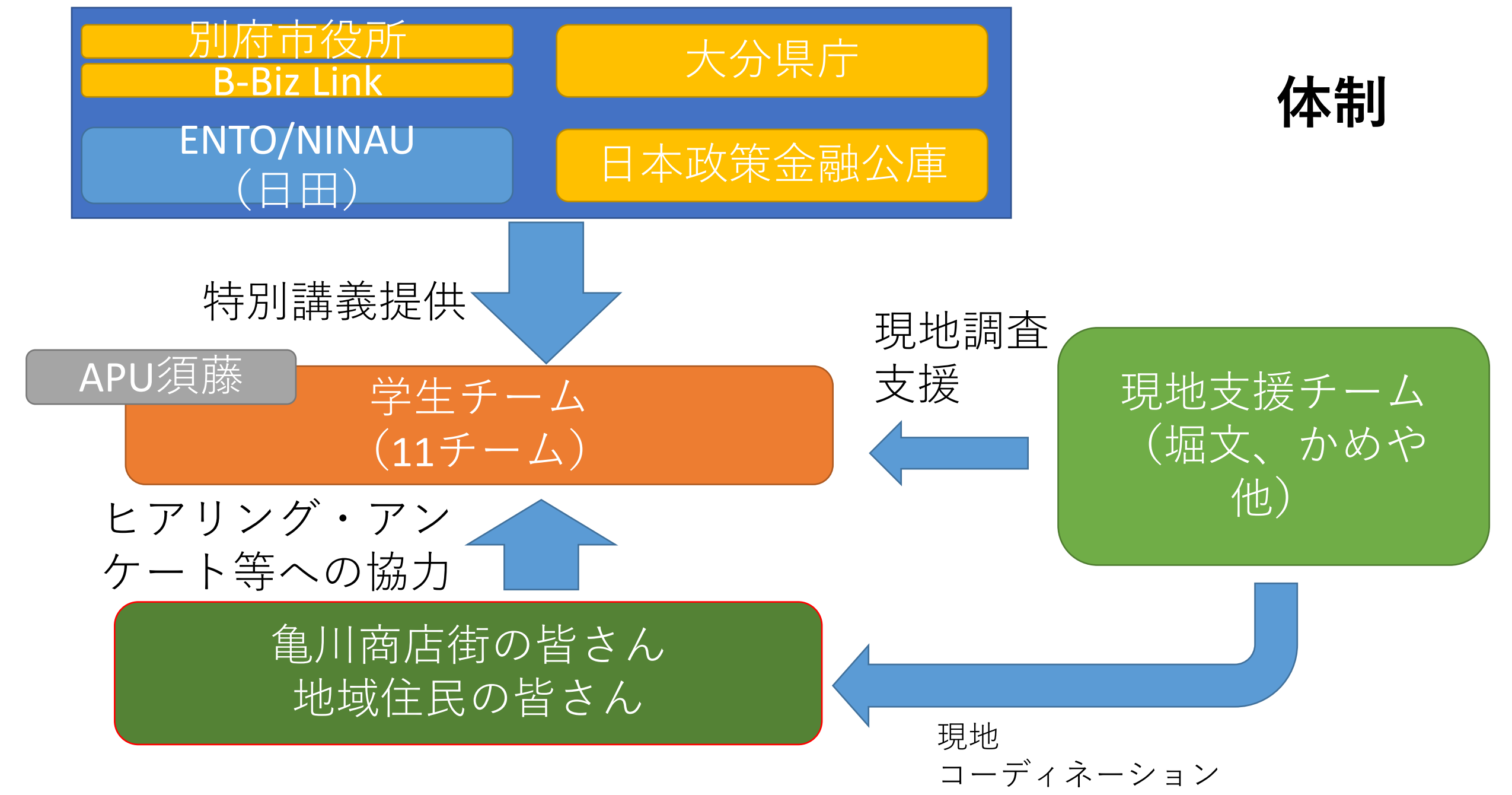
立命館アジア太平洋大学アジア太平洋学部 須藤智徳

## 0. 背景

亀川商店街は別府市の北部にある商店街で、JR亀川駅から徒歩5分に位置する南北約900mの商店街である。近年は来街者も減少し、経営者の高齢化・後継者難や空き店舗の増加等問題を抱えている。2018年にはその中核店舗であったマルショク亀川店が閉店したが、2020年に試験的に空きビルを活用して、APUの学生が期間限定のカフェを開業したところ、近隣住民から高い評価を受け、その後APU学生による「無料のスーパーマーケット」の期間限定実施した際にも多くの来店客が訪れる等、商店街活性化のポテンシャルは十分にあることが確認できている。他方で、住民の高齢化に配慮し、イベント等による騒音の発生等に留意し、すべての住民にとって受け入れ可能で持続的な取り組みを行なっていく必要がある。



大分県等と連携し、実践型の起業家を目指す学生に対し、課題発見、課題解決および提案力を構築するとともに、起業に必要な手続きや資金調達、企業経営等の実践的な知見の修得を目指す。

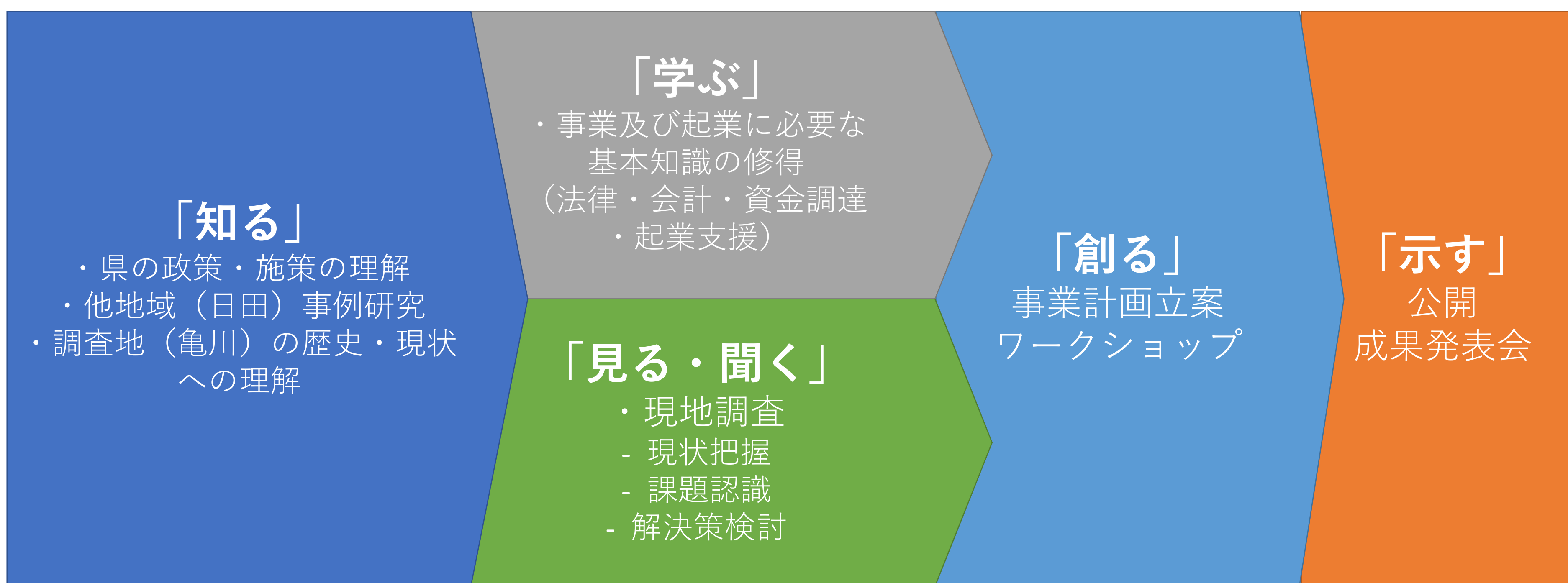


## 1. 本事業の目的

本事業は、これまでの当該授業での経験と学生たちによる亀川商店街での試験的なビジネス実施実績を踏まえ、亀川商店街の課題を特定し、同商店街の特性を活かしたビジネスによる商店街活性化方策を検討し、もって亀川商店街の活性化を図ることを目的とする。

**2. 実施内容** 本事業は、秋 semester 開講科目「環境・開発 特殊講義」として実施し、14回の授業のうち、10回は教室での講義（うち4回はゲストスピーカーによる講義）、3回を現地フィールド調査、1回を公開発表会開催とした。

本事業は、①「知る」地域の把握、②「学ぶ」基礎知識の修得、③「見る・聞く」現地フィールド調査、④「創る」事業形成、⑤「示す」公開成果発表、の5部で構成。



週	日時	授業内容
第1週	10月8日	イントロダクション
第2週	10月15日	大分県の地域課題
第3週	10月22日	別府・亀川の地域課題
第4週	10月30日	現地調査/現地状況の把握
第5週	11月5日	起業とは
第6週	11月12日	起業に必要な法律・会計の知識
第7週	11月20日	現地調査/社会課題の特定
第8週	11月26日	クォーターブレイク
第9週	12月10日	資金調達手法
第10週	12月17日	公的金融機関による起業支援
第11週	12月24日	年末年始休暇
第12週	1月7日	別府市による起業支援
第13週	1月8日	現地調査/社会課題解決策の検討
第14週	1月14日	事業計画立案ワークショップ
	1月21日	事業計画立案ワークショップ
	1月29日	事業計画プレゼンテーション大会

## 立案した事業の実施と協働化の方向性

・受講学生が作成した事業提案14件について地域住民を対象にプレゼンテーションを実施し、60名ほどの地域住民等が出席し、意見交換を行なった。  
 ・今回提案された事業のうち4件については地域住民とともに実施に移されることとなった。今後、地域住民との協働を行なっていく予定。  
 ・更に、今回選択されなかった提案も、引き続きブラッシュアップの上、亀川商店街関係者及び地域住民に引き継がれるとともに、来年度希望する学生がいれば、その学生らと連携して地域住民が自ら事業実施を図ることが可能となる。

**一過性のイベントではない事業形成を行なう本事業に対する亀川商店街関係者及び地域住民の評価は高く、本事業の継続が強く望まれている。**



## 3. まとめ

本事業では、学生が亀川の歴史や地理、文化を知るきっかけとなるとともに、亀川地区が抱える社会課題に対し、単なる一過性のイベントではなく、持続可能なビジネスの実施を前提とした事業提案を検討することで、事業立案への実践的な学びとなっている。また、本事業を通じ、受講学生たちの研究成果を地域住民と共有する機会となり、学生による新たなアイデアを生かした地域振興を図る活動を始めていくきっかけとなった。また、受講学生たちは、今回のフィールドスタディで地域の魅力を感じ始めており、今回、本事業を通じた協働を行なったことで地域住民とのつながりを深めることができた。今後、地域の魅力をより具体化するとともに、地域住民とともに地域活性化に更なる貢献を果たすことが期待される。